

上野耕平のサクソ道! vol.5

# 上野耕平

サクソフォン・リサイタル



林英哲 (太鼓)  
スペシャル・ゲスト



山中惇史 (ピアノ)

## サクソフォンと太鼓 ダイナミックに繊細に絡み合う


和太鼓の第一人者・林英哲を迎え  
気鋭の作曲家・藤倉大による新作を世界初演。  
邦人作品を集めたプログラムで  
日本から世界へサクソフォンの魅力を届ける。

長生淳: **天国の月**

藤倉大: **ブエノ ウエノ** (2019) ※世界初演

武満徹: **小さな空** ほか

2019.12.20(金) 19:00開演  
(18:30開場)

 **浜離宮朝日ホール**

一般発売 **7.6(土)** 全席指定・税込 **4,500円** 学生 **2,000円** (限定)

イープラス <https://eplus.jp/ueno/>

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00-18:00)

**朝日ホール・チケットセンター** 検索

チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> (Pコード:156-629)

お問い合わせ:イープラス 03-5449-6829 (平日11:00-17:00)

主催:朝日新聞社/イープラス

※学生は小学生から専門学校/大学院生 ※学生券は前売りのみの販売。 ※学生券をお求めの方は、当日入場時に学生証など身分を証明しただけのもを確保させて頂く場合がございます。 ※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる可能性がございます。 出演者・曲目変更等に併う払い戻しはいたしませんので予めご了承ください。  
※就学前のお子様のご入場はお断りしております。 託児サービスをご利用ください。  
イベント誌見・マナーズ (要予約) 0120-788-222

## 上野耕平 (サクソフォン)

8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。

指揮者山田和樹氏には「耕平は、1音を聴いただけで、たたく者ではないと思った!」

またボストンポップスオーケストラの音楽監督であり指揮者であるKeith Lockhartには「サクソフォンのこんな音聴いた事がない。目が飛び出るほど驚いた!」と言わしめた。

第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門にて、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクール第2位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。2016年のB→C公演では、全曲無伴奏で挑戦し高評価を得ている。常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。

現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ演奏活動のみならずメディアへの出演や、サクソカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ばんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。

CDデビューは2014年「アドルフに告ぐ」、2015年にはばんだウインドオーケストラ、2017年にはThe Rev Saxophone QuartetのデビューCDをリリース。最新のソロアルバムは無伴奏バッハ「BREATH」、The Rev Saxophone Quartet「FUN!」第28回出光音楽賞受賞。

<http://koheiueno.com/>



Kohei Ueno



©Shigeto Imura

Atsushi Yamanaka

## 山中惇史 (ピアノ)

1990年生まれ。愛知県岡崎市出身。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。在学中、指揮科、弦楽科ティーチングアシスタントを歴任。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲一般の部第3位。東京藝術大学木曜コンサート(室内楽作品)及びモーニングコンサート(オーケストラ作品)に選抜される。「JR岡崎駅イメージソング」(2013)「岡崎市立翔南中学校校歌」(2014)「祝典行進曲」(2016 岡崎市制100周年記念、岡崎スクールバンド協議会委嘱)など、出身地である岡崎市への楽曲提供も数多く行う。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては、上野耕平、漆原朝子、漆原啓子、川井郁子、清水高師、ピエール・アモイヤル、寺谷千枝子各氏をはじめとする国内外のアーティストと共演を重ねている。2014年、小川響子氏とのデュオで第2回デザインK国際音楽コンクールにてグランプリ受賞。編曲の分野に於いても担当したアーティストはクラシックからポップスまで幅広い。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。メディアではNHK-FM、TBSラジオ、NHK、日テレなどの番組に出演。令和元年度第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門にて『風三章』(詩・茨木のり子)で第1位を受賞。

## 林英哲 (太鼓)

11年間のグループ活動後、1982年太鼓独奏者として活動を開始。84年、初の和太鼓ソリストとしてカーネギー・ホールにデビューし国際的に高い評価を得た。2000年にはドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演、2万人を超える聴衆を圧倒させた。かつて日本の伝統にはなかった大太鼓ソロ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作など、前例のない太鼓ソリストという分野を開拓。和太鼓を日本そして世界に知らしめた第一人者。ジャンルを超えた世界のアーティストやオーケストラと共演しながら、国内外でますます活躍のフィールドを広げている。外務省・国際交流基金・文化庁などから国際友好・交流年には、日本の太鼓音楽、文化紹介のための大型派遣にも数多く貢献している。

創作太鼓のための委嘱作品なども多く作曲、指導。主な著書に、増補新装版「あしたの太鼓打ちへ」(羽鳥書店)、書き下ろし自伝「太鼓日月〜独走の軌跡」(講談社)97年芸術選奨文部大臣賞、01年日本伝統文化振興賞、17年松尾芸能賞大賞を受賞。長年東京藝術大学客員教授(〜2019.3)を務めた。

<http://www.eitetsu.net>

Eitetsu Hayashi



©S.Oguma